**職 務 経 歴 書**

20◯◯年◯◯月◯◯日現在

氏名　○○ ○○

**■職務経歴概要**

大学卒業後、◯◯株式会社へ入社。ゲームデザイナーとして勤務。グラフィックやエフェクト、映像演出まで、ビジュアルデザイン全般を担当。

携わったゲームは「◯◯の伝説」「オーシャン○○」「バット○○」「◯◯エデン」。

3DCGデザイン、コンセプトアート、インターフェイスデザイン、イベントシーン制作・演出などの業務を通して各タイトルの成長に貢献してきました。

**年収を上げる職務経歴概要作成のポイント：経歴の要点のみを短く分かりやすくまとめる**

職務経歴概要は一読しただけで、これまでの経験が分かるようにまとめることがポイントです。何度も読み直して、余分な文章をそぎ落とした内容にしましょう。

職歴が複数ある場合も、長くなりすぎないように気をつけることも大切です。エントリーする企業が求職者に求めるスキルについても考慮しながら、最適な経験を選びましょう。

**20◯◯年◯◯月　○○株式会社入社　　　（在職期間：　◯年◯◯ヶ月）**

　事業内容：ゲームサービス事業、アプリ開発事業

　従業員：◯◯名　　売上：◯◯◯◯円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **勤務期間** | **業務内容** | **職場環境** | **役職** |
| 20◯◯年◯◯月　～　20◯◯年◯◯月 | ゲームデザイナー  ・テクニカルデザイン  ・インターフェイスデザイン  ・イベントシーン映像制作  ・3DCGモーションデザイン  ・コンセプトアート制作  【担当ゲーム】  「◯◯の伝説」　http://○○  「オーシャン○○」　http://○○  「バット○○」　http://○○  「◯◯エデン」　http://○○  【実績】  「◯◯クエスト」「◯◯伝説」では、敵キャラクター、装備アイテムのデザインを担当。キャラクターの3DCGモーションデザインにも携わっています。主に使用したソフトはPhotoshop、Illustrator、Maya。 | ゲーム開発事業部：  10名 | 一般社員 |

**年収を上げる職務経歴作成のポイント：業務内容は箇条書きで見やすさを重視**

ゲームデザイナーとしての職務経歴を書く場合、業務内容はアピールしたい内容から順番に、箇条書きにしていきましょう。

また具体的に携わったゲームについても、名称を記載することでアピールへとつながります。

複数のゲーム開発に携わった場合は、それぞれのゲーム開発でどのような経験や成果があるのか丁寧に書くと、経験を漏れなくアピールすることができます。

■**これまでの経験・技術・知識**

・提案書、プレゼン資料作成（Word、PowerPoint）

・管理表作成（Excel/IF関数、ピボットテーブル）

・Illustrator、Photoshopの操作

・SAI IllustStudio

・SNSゲームイラスト、Flash作成

・Mayaの操作

**■取得資格**

20◯◯年◯◯月　普通自動車免許

20◯◯年◯◯月　基本情報処理技術者試験

**■自己PR**

私のゲームデザイナーとしての強みは、トレンドを反映させたデザインができるところにあります。私はこれまで自分自身のスキルを磨くことは当然の努力と考え、それ以上にトレンドに敏感になることに注力してきました。

その結果としてゲームアプリ「◯◯」では約800個のレビューのうち7％がデザインを称賛するものとなり、ゲームの品質向上に貢献できたと自負しております。

トレンドの収集はネットに限らず実際に街を歩き、デザイナーはもちろん様々な職種の知人と意見交換をするなど、日常的に実施しています。

今後はCGグラフィックの技術をさらに磨きながら御社の事業に貢献させていただきたい所存です。

**年収を上げる自己PR作成のポイント：一番の強み何なのか、経験をアピールする**

ゲームデザイナーの自己PRでは、経験してきた業務が直接スキルの証明にもなります。自己PRを作成する際は、これまでの経験を棚卸して、エントリーする企業のニーズにあった経験をPRしていきましょう。

そして具体的にどのようにして強みを身につけることができたのか、を書くとより説得力がある自己PRにすることができます。

また将来の方向性やキャリアプランが明確にある場合は、その内容も加えておきましょう。

ゲームデザイナーとして年数アップを目指すなら、役立つスキルとしてはCGソフトの操作スキルがあります。

CGソフトの操作経験は武器となりますが、ゲームデザイナーとしてスペシャリストを目指すなら、客観的にスキルがあることを証明できる資格取得もおすすめします。

CGソフトを用いる能力の証明につながる資格には「CGクリエイター検定」があります。